

第 10 回 医療安全監査委員会議事録

日 時：令和 4 年 3 月 28 日（月）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長、森田眞照委員、永井仁美委員、
吉野敬昌委員、谷川昇委員、蔦幸治委員

【病院側出席者】

松田公志病院長

宮崎浩彰医療安全管理部部長、藤原宏司事務部長代理

【事務局】総合企画室 齋藤

コロナウイルス感染症拡大による蔓延防止等重点措置実施中のため、資料を送付し、意見を頂く形式にて開催した。開催日は資料の送付日とした。

議 事：

1. 業務状況報告

医療安全管理部が作成した以下の資料を送付した。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

・院内死亡報告において、令和 4 年 1 月・2 月の報告数が 100%でない理由について、お聞かせ願います。

（回答）1 月と 2 月の院内死亡報告が 100%でない理由は期限の関係です。今後、死亡当日に報告するように診療科に依頼します。

・救急車で搬送の件、出棟 2 時間以内にバイタルを測定とありますが、意味がよくわかりません。救急車の中で測定ということでしょうか。

（回答）ご指摘の 2 時間という設定ですが、入院病棟から救急車に向かう直前にバイタルサインを測定することが望ましいのですが、業務上困難な場合もあり、出棟 2 時間前から出棟時点までの間に測定することになっています。その時点で異常があれば、担当医と連絡をとり搬送の可否を判断するという意味です。タイムアウトは救急車に乗車したタイミングで実施し、出発直前の患者の状態や必要な機器が装着されているかの最終確認を行います。

次回開催日について

改めて日程調整を行う。

以 上